

グリーンbondを活用した官民連携による再エネ・省エネ事業	取組開始時期	平成31年 2月	取組の カテゴリ	地域活性化
-------------------------------	---------------	----------	---------------------------	-------

1. 団体名	こなんウルトラパワー株式会社	2. 連携先の 団体	滋賀県湖南市・株式会社滋賀銀行
---------------	----------------	-----------------------------	-----------------

3. 取組 目的	官民連携により設立した自治体新電力会社が、小売電力事業の収益を活用し、地域課題解決に資する取組を行います。	4. 関連する ゴール	     
---------------------------	---	------------------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

◆こなんウルトラパワー概要

〈資本金〉 11,600千円
 〈出資者〉 湖南市・パシフィックパワー(株)
 湖南市商工会・甲西陸運(株)・タカヒサ不動産(株)
 ・西村建設(株)・美松電気(株)・(株)滋賀銀行
 〈設立日〉 平成28年 5月31日
 〈主な事業内容〉
 小売電気事業・熱供給及び熱利用事業・新事業や
 まちづくり事業等地域振興に関する事業

◆得られた成果

- ◎ 地域における自然エネルギー導入への貢献、地球温暖化対策への貢献
- ◎ 地産電源の確保、エネルギーの地産地消による地域経済循環への貢献
- ◎ 発電事業・省エネサービス事業へのチャレンジ、小売電気事業以外の新たな収入源の確保
- ◎ グリーンbondの活用により、第三者機関からグリーン事業であることの証明された事業展開
- ◎ エネルギー産業の振興、行政サービスの充実

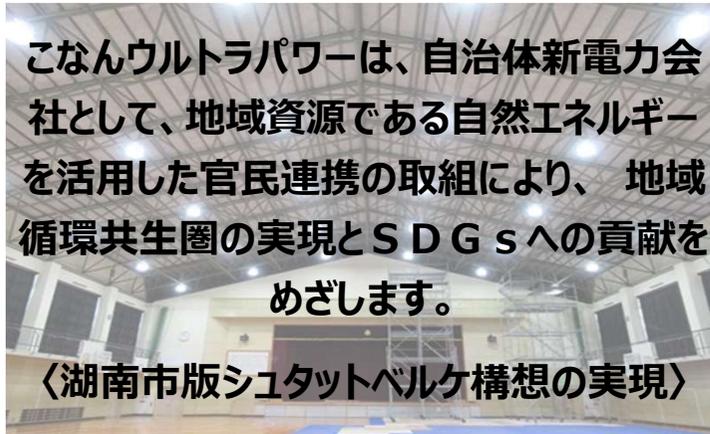
◆取組内容の詳細

こなんウルトラパワー株式会社は、小売電力事業の収益を活用し、まちづくり事業等地域振興に関する事業に取り組むこととしています。
 公共施設等の省エネ調査を行いながら、学校体育館等のLED照明化等を実施する省エネルギーサービス事業や再生可能エネルギー導入事業を実施しています。
 これらの資金調達として、全国最小発行額による、地元の金融機関が参画したグリーンbondを活用し、省エネサービス・再エネ発電事業を行いました。

◆今後の方向性

こなんウルトラパワーは、自治体新電力会社として、地域資源である自然エネルギーを活用した官民連携の取組により、地域循環共生圏の実現とSDGsへの貢献をめざします。

〈湖南市版シュタットベルケ構想の実現〉



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

〈経済〉地元金融機関のグリーン債券発行による経済の域内循環創出
 〈環境〉LED照明導入、太陽光発電事業導入による市域におけるCO2排出量削減
 〈社会〉「エネルギー×地方創生地域ネットワーク協議会」で報告され、全国の地方自治体への周知

ステークホルダーとの連携

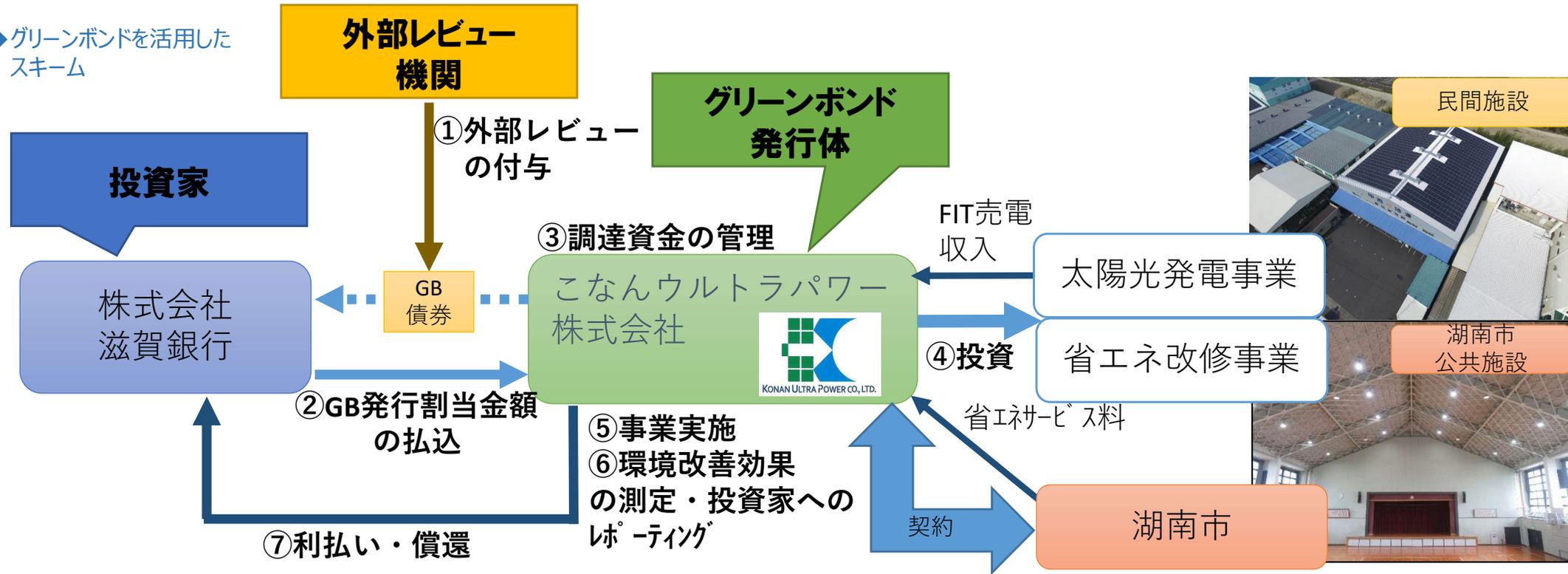


モデル性・波及性

平成30年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」受賞。新電力による電力販売だけでなく省エネサービス事業として小規模ESCOサービスを公立学校で行っており、地域に密着した新電力が需要サイドまで巻き込み電力供給と共に省エネを推進するという今後普及が期待できるサービス事業と評価いただきました。

自由記述欄

◆グリーンボンドを活用したスキーム



- ✓ こなんウルトラパワーの収益を活用（調査検討・計画・事業の自己資本として）するとともに、グリーンボンド等のESG投資を活用した資金調達により、財源を確保した。
- ✓ こなんウルトラパワーでは、2018年度に**自治体新電力会社として初めて**となる「こなんウルトラパワーグリーンボンド1号」（発行額1.1億円）を発行し、市内の物流センター2件の屋根置き型太陽光発電事業（273kW、266kW）および市内の学校施設4校の照明LED化事業を展開している。
- ✓ 2019年度においては、引き続き「こなんウルトラパワーグリーンボンド2号」（発行額6千万円）を発行し、市内小学校及び竜王町の小学校と図書館で省エネサービス事業を展開している。2年連続の資金調達となり、継続した事業展開に育ちつつあるとともに、はじめて他市町との**広域連携**による取組となり、今後も周辺市町との連携事業の展開を図ることとしている。

◆省エネサービス事業

- ✓ 通常は建物所有者（湖南省）が初期投資をかけて設備導入するところを、こなんウルトラパワーが自らの負担で設備を導入する。
- ✓ 湖南省はこなんウルトラパワーに電気代および維持管理費の削減額以下の金額をサービス料として一定期間支払うため、湖南省の実質負担はゼロ、推定される需要家メリットを元にサービス料を設定する。
- ✓ 2020年11月現在、再エネ事業3か所（太陽光発電合計559kW）、省エネサービス事業13か所（公共施設12か所、民間施設1か所）で実施済。今後も多数の事業検討・計画あり。

